

セメント系セルフレベリング材 エスレベル®(袋)

「エスレベル」は、高炉セメントの特長を生かして開発された高流動・高強度・高耐久のセルフレベリング材です。一般住宅から大空間の建造物、フォークリフトの走行する工場床、改修工事等、幅広い用途に活用できます。



製品の特長

●荷姿

荷姿は紙袋（25kg 入）です。現場では所定量の水と練り混ぜるだけで安定したSL材が作れます。

●高流動

フロー値が非常に大きく、水平流動性に優れます。

●流動保持性

可使時間には2時間および6時間の2タイプがあり、年間を通じて安定した流動保持性を有します。

●高耐久

材齢28日で35N/mm²程度の強度が発現します。

主な用途

◇戸建、集合住宅等の屋内床下地調整材

◇学校、病院、特養施設、店舗等の床精度の高い大空間の屋内床下地調整材

◇工場、倉庫、屋内駐車場等の重量物が作用する屋内床下地調整剤

◇Pタイル、フローリング、長尺シート、塗り床等の床下地調整剤

◇10mm以下の薄塗り、50mm以上の厚塗りのセルフレベリング材施工

一般的な施工手順

1 下地清掃

- 下地の清掃は掃除機等を使用してホコリやゴミを十分に除去して下さい。
- レイタンス、油分、突起物、雨打たれ等の脆弱部は完全に除去して下さい。
- 壁の立ち上がり部、床下電気配線孔等の空隙は十分に目止めして下さい。

2 アタリ出し

- 特に高いレベル精度を必要とする場合には、1.0～1.5m感覚でアタリを出して下さい。
- アタリに補修材やモルタルを使用する場合は、アタリにもプライマーを含ませて下さい。

3 プライマー塗付

- プライマーには、弊社専用品を使用して下さい。
- プライマーの希釈方法、塗付方法等については、弊社プライマーカタログを参照して下さい。

4 エスレベル打設

- エスレベルの練混ぜは、弊社指定の方法で行って下さい。
- 打設は、隅から順に墨やアタリに合わせて流し込み、トンボ等で均して下さい。
- 打継ぎ部はトンボ等でタッピングして材料を馴染ませて下さい。

5 養生

- 硬化するまでは、窓等の開口部を閉めて、通風と乾燥を防止して下さい。
- 直射日光やジェットヒータ等の温風が当たらないように養生して下さい。
- 通常は施工翌日に軽歩行が可能です。冬季は硬化が遅れる場合があります。

6 仕上げ材施工

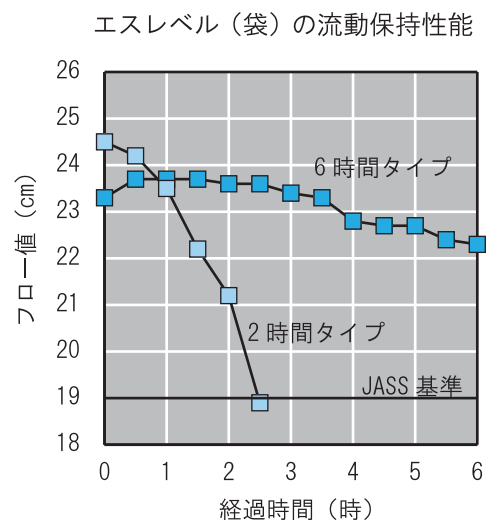
- 床仕上げ材の貼り込みは、仕上げ材施工者との相談の上時期を決定して下さい。
- 常温での貼り込み時期は、打設7日～1ヶ月以内が適当です。
- 塗り床の場合は、打設3～7日を目安にポリシヤー掛けして下さい。

標準的な配合

| | 練混ぜ水量 | エスレベル (袋) | 練上り量 | 1m ³ に相当する袋数 |
|--------|---------|-----------|----------|-------------------------|
| 2時間タイプ | 4.5kg/袋 | 25.0kg/袋 | 約13.3L/袋 | 約75袋 |
| 6時間タイプ | 5.3kg/袋 | 25.0kg/袋 | 約14.0L/袋 | 約71袋 |

エスレベル (袋) の物性値

| | 20°C試験値 | | JASS15 M-103 品質規準 |
|------------------------------|---------|---------|----------------------|
| | 2時間タイプ | 6時間タイプ | |
| 練混ぜ水量 | 4.5kg/袋 | 5.3kg/袋 | — |
| 密度 (g/cm ³) | 2.22 | 2.15 | — |
| フロー値 (cm) | 24.5 | 23.3 | 19以上 |
| 終結時間 | 6:45 | 15:00 | 20時間以内 |
| 圧縮強度 (N/mm ²) | 7日 | 35.2 | — |
| | 28日 | 48.4 | 20以上 |
| 接着強度 (N/mm ²) | 下地 | 2.55 | 0.7以上 |
| | 表面 | 1.88 | 0.5以上 |
| 長さ変化率 (%) | 0.040 | 0.029 | 0.12以下 |



※上記の物性値は恒温室で試験した測定例であり、性能を保証するものではありません。
また改良のため予告なく変更する場合があります。

練混ぜ方法・注意

- 練混ぜ水の水量は、1袋 (25kg) に対して2時間タイプで4.3～4.7kg、6時間タイプで5.0～5.6kgです。
練混ぜ水には油、塩類、有機物等を含まない清浄な水を使用して下さい。
- 練混ぜには、高速グラウトミキサまたは回転数1000rpm以上の高速ハンドミキサをご使用下さい。
練混ぜ時間は概ね2～3分程度です。
- 季節や使用ミキサの種類等によって、練混ぜ後の流動性が変化します。
所定の流動性を確保するため、水量範囲内で適切な水量を調節して下さい。
- 冬季に十分な流動性が得られない場合には、練混ぜ水に20～30°C程度の温水を使用して下さい。

その他の注意事項

- 本製品はセメントを使用しており、水と接触すると強いアルカリ性を示します。
取扱いの際には、安全データシート (SDS) をお読み下さい。
- 屋外や水のかかる部位への施工は行わないで下さい。
- 特殊な下地への施工や特殊な用途、その他ご不明な点がございましたら弊社までお問い合わせ下さい。

(2015年4月1日改定)

日鉄住金高炉セメント株式会社

東京グループ 〒104-0033 中央区新川1丁目16番14号(アクロス新川ビルアネックス) ☎03-3523-0947～8
 名古屋グループ 〒470-1219 豊田市畷部西町昆布池22番1号(大嶽安城豊田生コン工場内) ☎0565-25-0107
 大阪グループ 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2丁目3番3号(桜橋西ビル) ☎06-6342-5880
 九州グループ 〒812-0025 福岡市博多区店屋町5番18号(博多NSビル) ☎092-283-0311
 本社SL事業部 〒803-0801 北九州市小倉北区西港町16番地 ☎093-563-5118

